

3学期始業式 式辞より

250107

おはようございます。少し時間は経っていますが、年頭のあいさつをしたいと思えます。「新年、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。」

この冬休みは、有意義な休みになりましたか？私は、みなさんが、元気にこの場にいてくれることを心から嬉しく思っています。もし、冬休み中に起きたことや、今、心配なことがあったら、迷うことなく先生たちに相談をしてください。

さて、私は、終業式でみなさんに、「自分の楽しみを満喫するだけでなく、自分にできることで、家族を喜ばせ、幸せな気持ちになってもらえるような過ごし方をしてください。」と伝えました。私もこの年末年始、家族に喜んでもらえるようにと自分から動くことを心掛けました。十分ではなかったかもしれませんが、自分がしたことで感謝されて、とても幸せな気持ちになりました。

ぜひ、この3学期には、「自分の命を輝かせること」「人の命を輝かせる（大切にすること）」を心掛けてほしいと思っています。

3年生は、未来の扉を開く「入試」を乗り越えるための努力を重ねることで、自分を鍛え、輝かせてください。そして、卒業という節目を通して、周りの人への感謝の心が育ち、大切にされる側から大切にすることの人間へと成長して欲しいです。

2年生は、スキー学習会や立志式を通して、自分だけに向いていた矢印を外に向けて自分から動いたり、自分の将来にしっかりと向き合ったりすることで、自分を輝かせる道を考えてほしいです。大変なことが多くありますが、2年生の3学期は大きく飛躍する時です。楽しみにしています。

1年生は、先輩の動きから多くのことを学ぶこれまでの様子から、大きな成長を感じています。この3学期の取組を通して、先輩になるという自覚が高まり、「心ある真の幸中生」を目指していくことを期待しています。

そして、「3年生を送る会」では、1・2年生が力を合わせて取り組み、感謝とエールを伝え、自信と誇りを胸に卒業していくことができるように3年生を輝かせてほしいと願っています。

さあ、短いですが濃密な3学期がスタートします。私は、自分にできることで、『人を喜ばせる』『人を幸せにする』ことを重ねていくことは、自分自身の命を輝かせることでつながると信じています。この3学期を通して、「命輝く姿」を積み重ね、学級が終わるとき、学年を閉じるとき、そして幸中を卒業するとき、この仲間と過ごした時間を愛おしく感じられるゴールを迎えてほしいという願いを伝え、始業式の式辞とします。